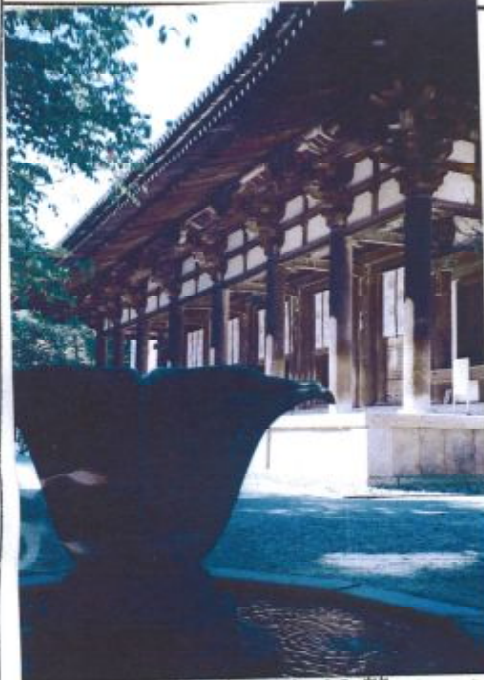


環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市波川町三丁目5番地7
 (波川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878



正面から見るとこの堂の端正な美しくそして堂の前廊の柱がギリシヤ建築の前廊の柱のまに柱として独立して立っているからかも知れない。

奈良 唐招提寺

正面 金堂におまいりして、仏前に柯りを捧げたミコから後おそろく多くの人は天皇時代何げなくこの円柱にも色彩が何かがかてはついていたのではなからうか。



八本の太柱の並んだ金堂をさや遠眼にみるときはまた別の美しさを感じる。この出張った柱のあるため、金堂がどれほど深い陰翳を与えられてるか想像がつくであらう。



唐招提寺 金堂 正面

柱組み 建築

しかレ屋根の曲線の大きい静けさも、の点にみあずかてカがあるであらう。もちろんこの種の曲線はギリシアの古代建築に認められるものではない。
 ローマ建築の曲線にはこれほど静かな落ちつきは感ぜられない。この曲線の端正な美しさは東洋建築に特殊なものとして認められてよい。この金堂は素洋に現存する建築のうちの最高のものである。



天平の極彩色 今花開く



奈良市の唐招提寺金堂(国宝)の正面扉の外側から、八世紀後半に描かれた極彩色の様が見つかつた。約千二百年間、金具の下に隠れていたため、奇跡的に天平時代の奈良の唐招提寺金堂扉から発見の色彩が残ったとみられる。文様は空想上の花。特に状態の良い部分で、真一は手のひら大で、緑色は緑青、赤は水銀朱やベンガラ、だいたい色は鉛丹、黒は墨を使つたらしい。一國津園

